

種費用が6〜7000円かかるので、国のほうでは低所得者に対しては、無料化、一部負担軽減をすべきだということも出ており、今後の推移を見守っていきたい。

## 町民バスの活用を進めよう

妻鳥公一議員

3月定例会で、町長はコミュニティバスについて、国土交通省の地域公共交通活性化・再生総合事業に計画を申請し補助を受けて平成23年度に実証運行、平成24年度から本格運行する予定でいると話していた。また、それまでの対応として町民バスの活用を検討したい旨の話しをされていたが、その後の検討した内容について伺う。

高薄町長

コミュニティバスに



町民巡回バスは1月から町の10人乗り公用車で試験運行される

については、高齢者の交通弱者に対する買い物、病院への通院の交通手段として、平成23年度から運行したいと考えているが、当面は来年1月から試行的に運行し、本格導入については、今あるバスを活用するのか、あるいは人数がどのくらいいるのかを踏まえて考えていきたい。

## 投票時間の見直しをすべきでは

奥秋康子議員

本町の投票当日の投

票時間は、1か所を除き従来どおりであり、午前7時から午後8時までと長時間にわたるため、立会人も大きな負担になっていくということである。

開票時刻においても、午後9時15分からは開票確定時刻も深夜になり、住民サービスから見て早く結果を知らせるべきである。

選挙費用の中で人件費の占める割合は大きく、行財政改革の効果をもっと上げるためにも、投票時間の見直しを図る必要があると考えるが、関係機関の所信を伺う。

山本選挙管理委員長

投票所の閉鎖時刻については、公職選挙法により、特別の事情がある場合に限り、投票所を閉じる時間を4時間以内の範囲において繰り上げできるとされている。

期日前投票制度が町民に浸透しており、投票時間の繰り上げによる

影響も少ないものと考えているので、時間別の投票状況も参考にしながら、投票所の閉鎖時刻の繰り上げについては検討をしていきたい。

## 雇用対策と時間外勤務

奥秋康子議員

役場職員による時間外勤務はここ数年2000万円程で、多くの時間外勤務が行われている。この時間外勤務について、どのように指導されているのか。

未曾有の不況の中で雇用情勢は一段と悪化しており、新卒者の内定率が下がるばかりでなく、失業率が大幅に上昇しており、仕事に就かなくても就職できない人たちがいる状況下で、一方では多くの時間外勤務が行われている。勤務時間内に収まらない仕

事を抱えている職員がいる状況であるならば、ワークシェアリングによる雇用を検討してはいかがか。

高薄町長

職員の時間外勤務については、ここ数年、時間数にして約3000時間と検証しており、各課における繁忙時の職員の連携、土・日曜日の時間外勤務に対する代休処理の徹底の効果があがっていると判断している。

勤務外時間に関わる職務内容は、恒常的ではなく、国や道への申請書類作成、各種会議の案内・調整、会議の議案や資料作りがほとんどで、それにはノウハウが必要であるため、ワークシェアリングを検討したがなかなか難しい。

健康管理のために職員にはできるだけ残業をしないようにと言っているが、今後も仕事の内容をしっかりと点検・精

査し、負担のないようにしていきたいかなければならない。

## 政権交代による町政への影響と今後

口田邦男議員

このたびの衆議院議員選挙により、政権交代が現実となった。本町への影響も大であると思われる。町民にとっても将来に向かって期待すると共に不安でもあり、今後は幾多の議論を重ね対応していかねばならないのは当然のことである。

現時点での町長の考えと方向性を伺う。

高薄町長

政府は平成21年度の補正予算で基金の凍結・見直しをし、平成22年度の目玉政策とするための財源に充てるという考え方でいるようだが、本町は基金を利用して、